

X-MON3 NTP サーバ設定方法 (RHEL/Rocky8 系)

本文書は、Red Hat Enterprise Linux (以下 RHEL と表記)8 系へ X-MON をインストールした環境において、chrony を利用した時刻同期設定を行う手順です。

OS の基本的なコマンド操作についてはご理解のうえお読みください。

1、X-MON サーバへ接続

X-MON サーバに直接モニタとキーボードを接続するか、SSH クライアント等でログインし、root ユーザにスイッチします。

2、対象ファイルのバックアップ

次のように設定ファイルをバックアップします。

```
# cp -vi /etc/chrony.conf /etc/chrony.conf.org
```

3、設定変更

続いて、指定 NTP サーバが指定されるよう変更します。

pool から始まる既存行をコメントアウトし、ご希望の NTP サーバ情報を指定した行を追加して保存してください。

```
# vi /etc/chrony.conf
※変更前
pool 2.rocky.pool.ntp.org iburst
(略)

※変更後
# pool 2.rocky.pool.ntp.org iburst
pool [指定の NTP サーバアドレス] iburst
(略)
```

4、設定の反映

次のコマンドで chronyd を再起動し、変更を反映します。

```
# systemctl restart chronyd
```

エラーなくプロンプトが返れば、次のように状況を確認してください。

```
# systemctl status chronyd
```

5、時刻同期状況の確認

次のコマンドを実行し、指定のサーバが応答に含まれること、またいずれかの行頭に*が付与されていることをご確認ください。

```
# chronyc sources
```

また、次のコマンドで X-MON サーバの現在時刻が正しいかご確認いただけます。

```
# date
```